



- 佐賀県総合計画2015 -

人を大切に、 世界に誇れる佐賀づくりプラン

平成27年7月 統括本部

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 1

- 佐賀県総合計画2015 -

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくりプランの構成

はじめに

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間
- 4 進化型の計画

第1章 今後の社会の変化

- 1 時代の潮流
- 2 佐賀県の特徴

第2章 基本理念と佐賀県の目指す将来像

第3章 施策分野ごとの基本方向

※県の施策全体を体系化

※施策ごとに10年後の目指す将来像、課題・対応、取組方針、主な具体的取組、指標を記載

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

- 1 “佐賀らしさ”を磨く視点
- 2 政策の柱ごとの重点項目
- 3 計画推進のための体制整備

第5章 計画の推進のために

- 1 施策推進に当たっての姿勢
- 2 施策推進を支える行財政運営

はじめに

1 計画策定の趣旨

高度経済成長期の日本では、多くの人々が経済的な豊かさを目指し、人々の価値観は画一的な傾向がありました。また、地方から都市部への人口集中が進みました。行政においては、全国一律の統一性と公平性を重視する、中央集権型の行政システムが実施されてきました。

しかしながら、高度経済成長後の安定成長、バブル崩壊を経て、右肩上がりの経済成長という方向のベクトルは失われ、経済の停滞が続きました。また、社会経済情勢の変化と情報化の進展などにより、人々の価値観の多様化が進み、旧来からの中央集権型の行政システムだけでは対応が困難となってきました。日本は、平成20年（2008年）から人口が減少に転じていますが、今後、人口減少はさらに加速することが予測され、経済活動の低下や過疎化の進行など、地域の活力が低下していくことが懸念されています。

こうした人口減少の進展などに的確に対応し、将来にわたり活力を維持していくためには、潜在的なものも含め地域の持つ様々な強みを活かすことや地域の魅力を高めることなど、自ら考え、自ら行動し、地域の諸課題に対して一体的に取り組んでいくことが強く求められています。

はじめに

このような中、佐賀県には、幕末から明治維新、その後の国づくりで活躍する人材を多く輩出した伝統、地域の寄り合いを定期的に行う「三夜待ち」や「くんち」のような地域の人々の絆の強さなど、貴重な財産があります。これら人を大切にしてきた歴史や風土は、県民一人ひとりの「思い」や「考え」に根づいており、誇りを持って次の世代に繋げていくことが重要です。

また、連綿と続く歴史や文化、佐賀平野を中心とした穀物や有明海のノリなどの豊かな自然の恵みを受けた農林水産品、伊万里・有田焼などの陶磁器等、「本物」の地域資源があります。これらは、人々の価値観が多様化する中でも変わらぬ価値を持ち続けています。このような“佐賀らしさ”の価値を再認識し、心地よいものとなるよう磨き上げ、世界に向けて情報発信していくことで、多くの方々から愛される、そして多くの方々を訪れる佐賀県を描いていきます。

今こそ、「人」を大切に、県民の総力を結集し、佐賀県が世界に飛躍すべき時です。
必ず世界に誇れる佐賀県となります。

県は、このような考えのもと、将来の姿を見据え、新たな施策や暮らしを支える施策などを計画的に実施していくため、今回、『-佐賀県総合計画2015- 人を大切に、世界に誇れる佐賀づくりプラン』を策定します。

はじめに

2 計画の位置付け

将来（10年後）の姿を見据え、その実現に必要な4年間の方策を明らかにするもので、これからの県政運営の基本となるもの。

また、県はもとより、県民、CSO^(※)、企業、市町等が参加・協働して取り組んでいくための共通の指針となるもの。

※CSO

Civil Society Organizations（市民社会組織）の略で、佐賀県では、NPO法人、市民活動・ボランティア団体（以上志縁組織）に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体（以上地縁組織）も含めて「CSO」と呼称。

3 計画の期間

4年間 平成27年度（2015年度）～平成30年度（2018年度）

＜知事の任期にあわせた4年計画＞

4 進化型の計画

社会経済情勢の変化などに適切に対応していくため、政策のマネジメント・サイクルを毎年度実施していくことにより、有効な取組や新しい事業等の立案・見直しを行い、計画に反映。

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 5

第1章 今後の社会の変化

1 時代の潮流

(1) 人口の変動

日本の人口	総人口の減少と少子高齢化が進展しているとともに、世帯人員数の減少と高齢単身世帯、高齢夫婦世帯が急速に増加しています。今後、全国的な人口減少は一段と加速化し、2050年前後に1億人を下回ることが予測されます。
世界の人口	世界全体の人口は2100年まで増加基調で推移します。アジア地域においては、中国を含む東アジアが今後10数年で人口減少に転じる一方、東南アジアや南アジアは人口増加の継続が予測されます。

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 6

第1章 今後の社会の変化

1 時代の潮流

(2) 経済環境の変化

産業

自動車産業などのグローバル製造業が産業の核となっています。今後、比較的成長が期待される分野としては、ゲーム・コンテンツ分野、観光分野、環境・エネルギー関連分野等が注目されています。また、国は農林水産業を「新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業」の1つに掲げています。

グローバル経済

アジア地域は急速な経済成長が続いています。アジア地域は、これまでは安価な労働力を背景とした製造業の生産拠点でしたが、所得水準の上昇にしたがって、我が国の製品を購入する消費市場としての位置づけが高まりつつあります。

労働力

生産年齢人口の減少に伴い労働力人口は減少します。今後、男性高齢層及び全年代の女性の労働力率の上昇が予測されます。

資源・エネルギー

我が国のエネルギー構成は、化石エネルギーへの依存度が高く、また、自給率が10%を切るまで低下しています。国は、再生可能エネルギーの積極的な導入を目指しており、再生可能エネルギーの技術開発や市場参入の進展が予測されます。

食糧

世界の人口増加等に伴い中国をはじめアジア、アフリカでは純輸入量が拡大します。日本は人口減少に伴い需要は減少するものの、輸入超過構造は継続すると予測されません。

第1章 今後の社会の変化

1 時代の潮流

(3) 生活環境の変化

地域

人口減少に伴う地域の人口密度の低下により生活機能の維持が困難となり、集約型都市の形成が課題となる地域が増加すると予測されます。

共助・公助システム

社会保障の支出が拡大する一方、生産年齢人口の割合が低下し、社会保障制度を支える現役世代が減少しています。

IT・ライフスタイル

ブロードバンド化の進展により、クラウドサービス利用率の大幅な上昇や、PCとモバイルの融合など、生活の利便性はますます高まっていくことが予測されます。

(4) 公共・行政の環境変化

自治体経営

生産年齢人口の減少や高齢化の進展による税収の伸びの鈍化、社会保障負担増等により財政状況はより厳しくなることが予測されます。

公共サービス

公共サービスにおける地域の人々の主体的な参加と行政との協働による取組が進んでいます。

第1章 今後の社会の変化

2 佐賀県の特徴

(1) 地理的・地勢的特性

- a. 中国や朝鮮半島など東アジア諸国に近接
- b. 東部地域は鉄道や高速道路など九州の陸上交通のクロスポイント
- c. 九州の中核都市・福岡市に近接、新幹線・高速道路の整備により、ますます時間距離が短縮
- d. 玄界灘、有明海という対照的で豊饒（ほうじょう）な海
- e. 緑豊かな天山や多良岳山系、肥沃な佐賀平野 など

(2) 豊かな文化資源

- a. 吉野ヶ里遺跡をはじめ、我が国を代表する貴重な文化財が数多い
- b. 全国に誇る多彩な地域文化が根付いている など

(3) 多様な産業

- a. 豊かな自然の恵みを受けた農業や水産業が盛ん
- b. 陶磁器産業、家具産業、製菓業といった特色ある地域産業 など

(4) 人の絆

- a. 「三夜待ち」や、消防団員の組織率が高い等、地域の絆が強い など

第2章 基本理念と佐賀県の目指す将来像

基本理念と6本の政策の柱

県政を進めていくためには、人に寄り添い、人と対話し、これまで受け継がれてきた人の「想い」を感じ取りながら、次の世代へ繋げていくことが大切です。また、佐賀県には、連綿と続く歴史や文化、地域の絆、農林水産品、陶磁器など、「本物」の地域資源があります。これらの“佐賀らしさ”の価値を私たち自身が再認識するとともに、世界からも認められる佐賀県をつかっていきたいという想いを込め、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に掲げました。

基本
理念

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

1 安全・安心の暮らしさが

2 楽しい子育て・あふれる人財さが

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

さが創生
さがデザイン

4 豊かさ好循環の産業さが

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

6 自発の地域づくりさが

- 基本理念に掲げる佐賀県を目指すため、6本の政策の柱をおき、政策を推進していきます。
- 政策の推進に当たっては、雇用や新しいひとの流れ、子育ての希望をかなえる環境、時代に合った地域を創り出す「さが創生」、人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする「さがデザイン」の2つの視点を入れて、取り組んでいきます。

第2章 基本理念と佐賀県の目指す将来像

10年後の佐賀県の目指す将来像

1 安全・安心のくらしさが

自然災害や事故等に対して、重大な被害を防止する対策が進み、迅速かつ的確に対応できる万全の体制が確立され、穏やかに安心して暮らすことができます。

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

女性が社会で躍動し、男女を問わず高齢者も障害のある方も誰もが住み慣れた地域の中で、多様な人々を理解しながら、思いやりをもって行動するとともに、恵まれた自然環境の中で健康にいきいきと暮らしています。

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

佐賀県の豊かな歴史や文化・伝統などの魅力が世界へ発信され、国内外の交流人口が増えています。

また、県民の誰もが文化やスポーツに親しみ、楽しむ風土が形成され、地域内外の人と人がつながる交流拠点づくりが進んでいます。

2 楽しい子育て・あふれる人財さが

結婚・出産・子育ての希望がかない、楽しく子どもを産み育てることができています。

また、多様な個性・能力が培われるとともに、地域への誇りをもって、世界でも地域でも活躍する人財が育っています。

4 豊かさ好循環の産業さが

起業や企業立地、イノベーションや新産業の創出が進み、多様な雇用の場が生まれているとともに、産業を支える人材が育っています。また、農林水産業が自立的な発展を遂げ、地場産業が活性化しており、地域の知恵と技術により磨き上げられた県産品の販路が世界中に拡大しています。

6 自発の地域づくりさが

快適なまちづくりが進むとともに、過疎地域や離島・中山間地域も元気にあふれています。また、地域間や国内外との人・物・情報の交流が盛んになるとともに、誰もが様々な形で参加しながら自発的な地域づくりが進んでいます。

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 11

第3章 施策分野ごとの基本方向

全体像

行政分野を「防災・減災・県土保全」、「くらしの安全・安心」など29の施策分野に分け、6本の政策の柱に沿って、県の施策全体（82施策）を体系化。

それぞれの施策ごとに『10年後の目指す将来像』、『課題・対応』、『取組方針』、『主な具体的取組』、『指標』を記載。

施策体系

1 安全・安心のくらしさが

（施策分野） 防災・減災・県土保全、くらしの安全・安心、水資源

2 楽しい子育て・あふれる人財さが

（施策分野） 子育て、教育、生涯学習

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

（施策分野） 福祉、健康、医療、環境、ユニバーサルデザイン、男女共同参画、人権

4 豊かさ好循環の産業さが

（施策分野） 雇用・労働、農業、林業、水産業、企業立地・商工業、エネルギー、流通、情報発信

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

（施策分野） 文化、スポーツ、観光

6 自発の地域づくりさが

（施策分野） まちづくり、交通ネットワーク、県民協働、国際化、情報通信

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 12

第3章 施策分野ごとの基本方向

施策体系

1 安全・安心のくらしさが (3施策分野、15施策)

【施策分野：防災・減災・県土保全（8施策）】

- 防災・減災等の体制づくり
- 原子力発電所の安全対策
- 建築物の耐震化の推進
- 治水対策の推進
- 土砂災害防止対策の推進
- 海岸保全対策の推進
- 農地等の防災・保全の推進
- 道路防災の推進

【施策分野：くらしの安全・安心（6施策）】

- 犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくりの推進
- 交通安全対策の推進
- 薬物乱用のない社会づくり
- 消費生活の安定向上
- 食品等の安全・安心の確保
- 生活衛生対策等の推進

【施策分野：水資源（1施策）】

- 水資源の安定的確保の推進

2 楽しい子育て・あふれる人財さが (3施策分野、11施策)

【施策分野：子育て（3施策）】

- 保育サービスの充実と子どもの居場所づくり
- みんなで取り組む次世代育成支援
- 地域で支える青少年の健全育成

【施策分野：教育（7施策）】

- 確かな学力を育む教育の推進
- 豊かな心を育む教育の推進
- 健やかな体を育む教育の推進
- 時代のニーズに対応した教育の推進
- 教育を支える環境の整備
- 私立学校の振興
- 高等教育機関等の充実

【施策分野：生涯学習（1施策）】

- 未来に活かすまなびの環境づくり

第3章 施策分野ごとの基本方向

施策体系

3 人・社会・自然の結び合う生活さが (7施策分野、22施策)

【施策分野：福祉（4施策）】

- 住民とともに支える地域福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障害者福祉の充実
- 母子保健及び児童・ひとり親家庭福祉の充実

【施策分野：健康（5施策）】

- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 食育の推進
- がん対策の推進
- 感染症対策の強化
- 難病対策の充実

【施策分野：医療（3施策）】

- 医療提供体制の充実
- 安全有効な医薬品等の安定供給の推進
- 医療保険制度の運営の安定

【施策分野：環境（6施策）】

- 地球温暖化防止対策の推進
- 生活環境の保全
- 自然環境と生物多様性の保全と活用
- 有明海の再生
- 多様な森林（もり）・緑づくり
- 廃棄物の減量化・リサイクルと適正処理の推進

【施策分野：ユニバーサルデザイン（1施策）】

- ユニバーサルデザインの推進

【施策分野：男女共同参画（1施策）】

- 男女共同参画社会づくり

【施策分野：人権（2施策）】

- 県民一人ひとりの人権が尊重される差別のない社会の実現
- 男女間のあらゆる暴力の根絶

第3章 施策分野ごとの基本方向

施策体系

4 豊かさ好循環の産業 さが

(8施策分野、17施策)

【施策分野：雇用・労働（2施策）】

- 産業を支える人材の確保と就職支援
- 障害者の就労支援

【施策分野：農業（4施策）】

- マーケットインによる競争力のある農産物づくり
- 次世代の担い手の確保・育成
- さが農村の魅力アップ
- 農業生産を支える生産基盤づくり

【施策分野：林業（1施策）】

- 森林資源の循環利用の推進

【施策分野：水産業（1施策）】

- 活力ある水産業の展開

【施策分野：企業立地・商工業（5施策）】

- 企業誘致の推進
- チャレンジする企業や起業家の育成支援
- 中小企業の経営基盤の強化
- 魅力ある地域商業の創造
- 伝統的地場産業の振興

【施策分野：エネルギー（1施策）】

- エネルギー政策の推進

【施策分野：流通（2施策）】

- 県産品の国内での新たな販路開拓による販売促進
- 県産品の輸出促進

【施策分野：情報発信（1施策）】

- 佐賀県の魅力創出・発信

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 15

第3章 施策分野ごとの基本方向

施策体系

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点 さが

(3施策分野、5施策)

【施策分野：文化（2施策）】

- 多彩な文化芸術の振興
- 特色ある地域文化の保存・継承と魅力発信

【施策分野：スポーツ（2施策）】

- 誰もがスポーツを楽しむ環境づくり
- 人と地域が元気になるスポーツの推進

【施策分野：観光（1施策）】

- 観光客の誘致促進

6 自発の地域づくり さが

(5施策分野、12施策)

【施策分野：まちづくり（3施策）】

- 自発の地域づくりの推進
- 快適に暮らせる「まち」づくり
- 美しい景観づくり

【施策分野：交通ネットワーク（6施策）】

- 地域における身近な移動手段の確保
- 暮らしに身近な道路の整備
- 佐賀空港の使いやすさの向上
- 九州新幹線の整備・活用
- 幹線道路ネットワークの整備
- 港湾の利活用及び整備・保全の推進

【施策分野：県民協働（1施策）】

- CSO活動の活発化と県民協働の推進

【施策分野：国際化（1施策）】

- 世界とともに発展する佐賀

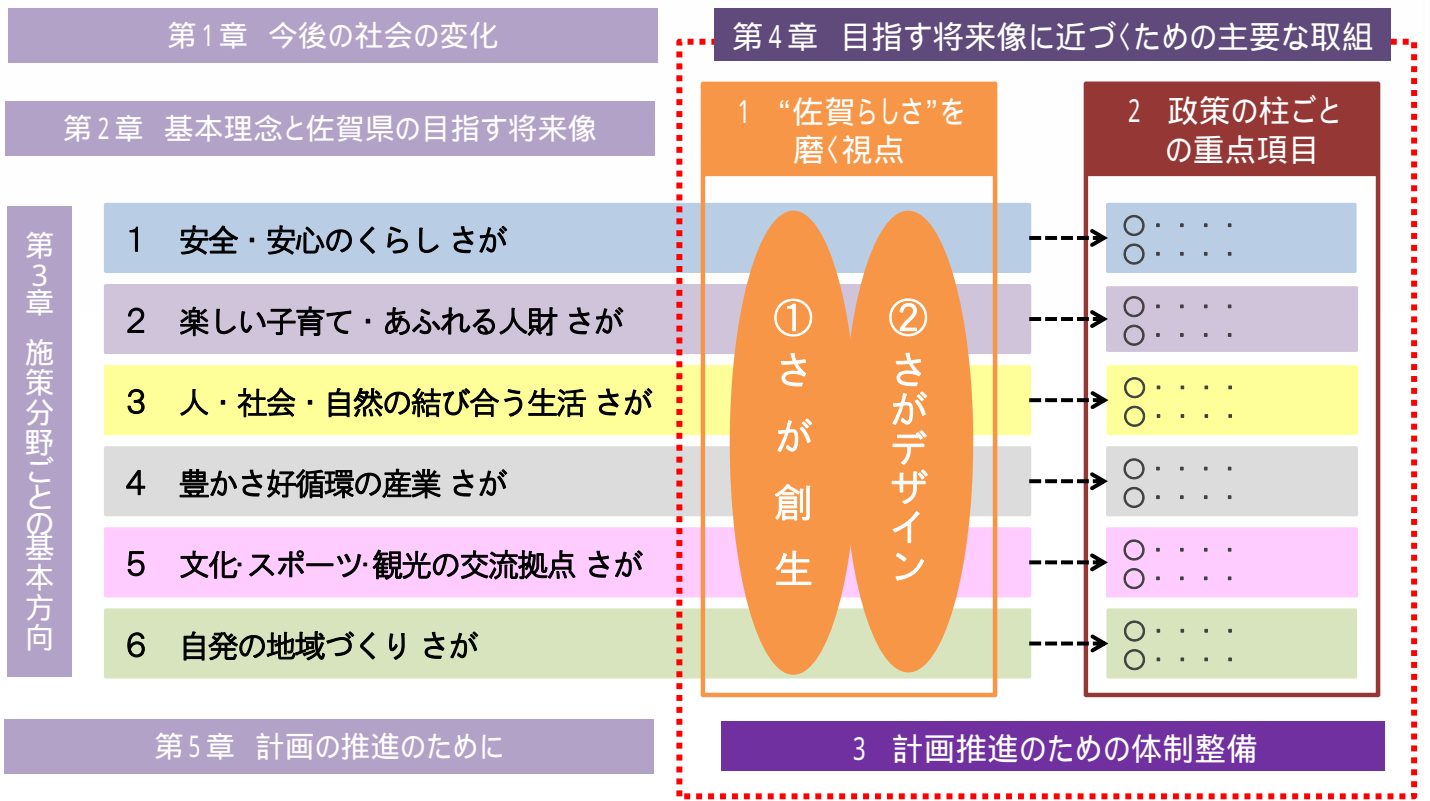
【施策分野：情報通信（1施策）】

- 県民のICT利活用の促進

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 16

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

全体像



第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

1 “佐賀らしさ”を磨く視点

① さが創生

「本物」の地域資源の磨き上げや、女性が活躍する社会づくりの推進などにより、雇用や新しいひとの流れ、子育ての希望をかなえる環境、時代に合った地域を創り出していくこと。

取組例

安定した雇用を創出する

- 6次産業化の推進などによる農村の魅力アップ
- 新エネルギー分野などにチャレンジする企業支援
- 佐賀の人材が活躍できる企業誘致の推進
- 産業を支える人材の育成・確保
- 世界を見据えた県産品の販路拡大 など

本県への新しいひとの流れをつくる

- 地域の元気に繋がる佐賀県への移住促進
- 「本物」を携え世界に佐賀をPR
- 食などの観光資源の発掘・磨き上げ支援
- 東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えたスポーツキャンプの誘致 など

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育てし大県“さが”プロジェクト
- ・「結婚したい」、「子どもがほしい」、「安心して楽しく子育てがしたい」といった希望がかなえられる社会づくりの推進
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現などによる男性の家事・育児への参画促進
- ・子育て世代の女性の就活サポート など

時代に合った地域をつくる

- 地域の人々による自発の地域づくりの支援
- 地域おこし協力隊などを活用した中山間地域等の振興
- 女性が活躍する社会づくりの推進
- 民俗芸能や地域に根付いた文化の継承
- ふるさと佐賀への誇りや愛着を持つ児童生徒の育成
- 高齢者が健康でいきいきと活躍する社会づくりの推進 など

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

1 “佐賀らしさ”を磨く視点

② さがデザイン

「モノ」と「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする。

取組例

モノ

県産品、街並みなどを磨き上げる

- 農林水産物などのアピール力・商品企画力の向上支援（ポップ作成のノウハウ取得支援等）
- 有田焼等の伝統的地場産品の見せ方・売り方の工夫や他分野とのコラボレーションなどによる新たな価値の付加
- 人に勤めたくなるような土産品の開発、海外で売れるようなパッケージ作成等の販売促進の支援
- 心地よい集いの空間となるような県立博物館等の施設の在り方や施設整備の方向性についての検討
- 歴史・文化等を継承した街並みや景観資源の保全活用など個性と魅力あるまちづくりの支援 など

コト

社会のシステム、サービスなどを磨き上げる

- 子育てし^{たい}大県“さが”プロジェクト（「結婚したい」、「子どもがほしい」、「安心して楽しく子育てがしたい」といった希望がかなえられる社会づくりの推進など）
- 女性が活躍する社会づくりの推進
- ふるさと佐賀への誇りや愛着を持つ児童生徒の育成
- 意欲ある担い手が希望を持って農林水産業に取り組める環境づくり
- 多言語に対応したアプリの開発やコールセンターの運営など誰もが観光しやすい地域づくり など

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

2 政策の柱ごとの重点項目

1 安全・安心の暮らしさが

- 地域防災力の充実・強化
- 原子力発電所の安全対策
- 民間建築物の耐震化の推進
- 安全・安心なICT社会づくり

(4項目)

2 楽しい子育て・あふれる人財さが

- 子育てし^{たい}大県“さが”プロジェクト
- きめ細かな指導による学力向上
- さがを誇りに思う教育の推進
- ICT利活用による学校支援
- グローバル社会を生きぬくSAGA人材づくり
- 特別支援教育の一層の充実
- いつでもどこでも“まなび”とつながる図書館の充実

(7項目)

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

2 政策の柱ごとの重点項目

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

- 地域包括ケアシステムの構築
- 健康でいきいきとしている高齢者が活躍する社会づくり
- 障害者が地域で安心して暮らすことのできる環境づくり
- 細やかな対応が必要な親子への支援
- がん対策の充実・強化
- 難病患者や家族が安心して相談できる体制づくり
- 医療提供体制の充実・強化
- 虹の松原の再生
- 有明海の再生
- 女性の活躍推進

(10項目)

4 豊かさ好循環の産業さが

- 産業を支える人材の育成・確保
- 園芸農業における革新的技術の開発・普及
- 佐賀牛の生産基盤の強化と輸出の促進
- 日本一の“水田フル活用”の推進
- “農の夢”応援プロジェクト
- イノシシなどの有害鳥獣対策の推進
- 森林資源のフル活用の推進
- 漁場環境改善対策の推進
- 佐賀の成長をリードする企業誘致の推進
- 美と健康のコスメティック産業の集積～コスメティック構想の推進～
- 県内企業の新技術開発・新分野進出の促進
- 起業・スタートアップの促進
- 6次産業化や機能性・健康食品産業の振興
- 有田焼のリブランディング～有田焼創業400年事業～
- 新エネルギー関連産業の集積
- 世界を見据えた県産品の販路拡大
- 情報発信プロジェクト

(17項目)

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 21

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

2 政策の柱ごとの重点項目

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

- 心うるおい人が輝く文化芸術にあふれた日常生活の実現
- 障害者が文化芸術・スポーツを楽しむことのできる社会づくり
- 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産・三重津海軍所跡の活用推進
- ～舞台は佐賀～
世界に誇る文化的・歴史的魅力の発信
- スポーツによるにぎわいの創出
- 「本物」の観光資源を活用したツーリズムの振興

(6項目)

6 自発の地域づくりさが

- 自発の地域創生プロジェクト
- 魅力のあるまちづくりへの先導的取組の推進
- 九州におけるゲートウェイ空港へ
- 九州新幹線の利活用の推進
- 広域幹線道路ネットワークの整備
- 物流、観光拠点としての伊万里港、唐津港の利活用の促進
- 地域の課題に取り組むCSO活動の活発化と県民協働の推進
- 多文化共生社会の推進

(8項目)

Copyright © 2015 Saga Prefecture. All Rights Reserved. 22

第4章 目指す将来像に近づくための主要な取組

3 計画推進のための体制整備

① 危機管理体制の拡充・強化

- 迅速な初動体制確立のための24時間365日体制の危機管理
- 危機対応の経験に基づく危機対応計画・マニュアル等の見直し
- 職員の危機管理能力の向上のための訓練の実施
- 現地対策本部設置や市町等への職員派遣等による現場での活動体制の整備
- 様々なメディアを通じた県民への情報提供体制の整備

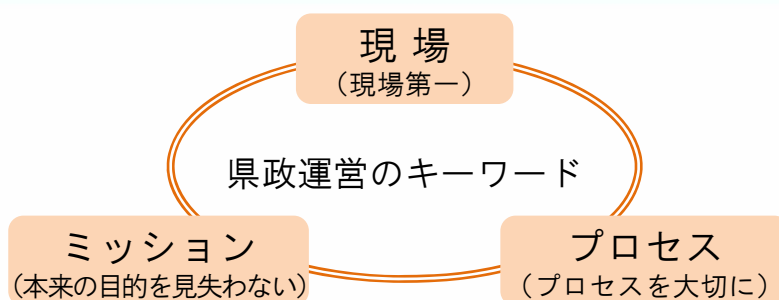
② 県民の総力結集による国際戦略の推進

- 佐賀県国際戦略本部会議『グローバルSAGA戦略会議』の設置
- 国際戦略課長会議及び外部有識者によるアイデア等の具体化の検討

③ 自発の地域づくりのための市町との連携

- 佐賀県GM21ミーティングの設置、開催
- 佐賀県・市町行政調整会議の開催
- 市町担当支援員制度の創設

第5章 計画の推進のために



1 施策推進に当たっての姿勢

- (1) 地域が主役の佐賀県づくり
 - ① 県民が主役
 - ② 市町との連携
- (2) 県民から頼られ、愛される県職員であるために

2 施策推進を支える行財政運営

- (1) 施策効果を最大にする行政運営
 - ① 地域を応援する取組
 - ② 人材育成・組織風土
 - ③ 効率的・効果的な行政運営
 - ④ 地方分権の推進
 - ⑤ 情報の利活用と管理
- (2) 選択と集中による戦略的な財政運営
 - ① 事業の選択と集中
 - ② 施策達成のための財源確保
 - ③ 将来を見据えた財政運営